

第96回 日本整形外科学会学術総会 講演一覧

会長講演

タイトル	講師	抄録	会場	日時	
骨・軟部腫瘍診療とさらなる発展 究める—知・仁・術—	尾崎敏文	S1	1	11日	13:40-14:10

基調講演

タイトル	講師	抄録	会場	日時		単位 種別	N必須 分野	認定番号 23-0023
新型コロナウイルス感染症 これまでとこれから	尾身 茂	S530	1	13日	9:35-10:35	N	14-2	102

文化講演

タイトル	講師	抄録	会場	日時	
人生100年 目標を持って生きる	安藤忠雄	S5	1	11日	16:05-17:05

特別講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時		単位 種別	N必須 分野	認定番号 23-0023
1	特殊環状ペプチド創薬からネオバイオロジクス 創薬へ	菅 裕明	S20	1	12日	16:25-17:25	N	1	37
2	整形外科の伝統の継承と創造的発展	岩本幸英	S531	1	13日	10:50-11:50	N	14-5	111

全国骨腫瘍登録60周年記念講演

タイトル	講師	抄録	会場	日時		単位 種別	N必須 分野	認定番号 23-0023
全国骨・軟部腫瘍登録の60年 —先達への敬意・仲間への感謝・将来への夢—	川井 章	S975	2	14日	10:50-11:50	N	5	161

記念講演

タイトル	講師	抄録	会場	日時		単位 種別	N必須 分野	認定番号 23-0023
よろこびを力に…	有森裕子	S351	1	12日	15:15-16:15	N	14-5	72

特別企画

No.	タイトル	講師/座長	抄録	会場	日時	
1	アスリートと医療をめぐる法律問題	北村晴男	S352	1	12日	17:35-18:45
2	The Art and Medicine in Setouchi	尾崎敏文, 青木 清	S537- 539	1	13日	17:00-18:30

教育研修講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 23-0023	他学会 単位				
1	寛骨臼骨切り術の革新 —田川先生のRAOから小切開ビギニ皮切による縫工筋内側筋間進入SPOへ—	西脇 徹	S24	3	11日	10:05-11:05	N, Re	11, 13	4	リハ			
	最小侵襲を目指した前外側アプローチTHA	赤石孝一											
2	関節リウマチ頸椎病変のマネージメント —最新の薬物治療体系における治療戦略—	海渡貴司	S35	4		11日	10:05-11:05	N, SS	6, 7	2	リ財団		
	体軸性脊椎関節炎	富田哲也											
3	骨・軟部腫瘍外科におけるnavigation-assisted surgeryの要点と盲点	藤原智洋	S84	7			10:05-11:05	N	5, 11	6			
4	日本整形外科学会症例レジストリーJOANRからみた筋骨格系手術のナショナルトレンド	種市 洋	S117	9			10:05-11:05	N	1	9			
5	医療の「安全」と「倫理」	宗像 雄	S119	9			14:30-15:30	N	14-3	23			
6	データから英語論文へ: 執筆とプレゼンテーションに役立つ12箇条	伊達 勲	S120	9			16:05-17:05	N	14-5	31			
7	大腿骨近位部骨折 日本版Best Practice Tariff 多職種による骨折リエゾンサービス	福田文雄	S128	10			11日	10:05-11:05	N	2, 11	3	リハ	
	大腿骨近位部骨折に対する機能回復を目指したアプローチ —早期手術を実行するシステムとは—	宮本俊之											
8	外傷性肘関節不安定症の最新知見 —機能解剖と臨床—	今谷潤也	S130	10				14:30-15:30	N	2, 9	22	手外科	
9	橈骨遠位端骨折治療の変遷とトレンド2023 —最新英文献レビュー & 和論文解析—	善家雄吉	S131	10				16:05-17:05	N	2, 10	30	手外科	
10	コンピューター支援による上肢の変形矯正手術	村瀬 剛	S132	10				17:20-18:20	N	2, 10	36	手外科	
11	腱の紡ぐ運動機能とその破綻による整形外科疾患	浅原弘嗣	S137	11				10:05-11:05	N	1, 2	7		
12	エアラインパイロットに必要な安全のためのチカラとリーダーシップ&チームワーク	豊田隆一	S142	11				16:05-17:05	N	14-1	32		
13	修復不能な腱板断裂に対する肩上方関節包再建術 up-to date 2022	三幡輝久	S150	12				10:05-11:05	N, S	2, 9	5		
14	人工知能(AI)の進歩と整形外科・リウマチ性疾病領域における画像研究	中原龍一	S164	13				10:05-11:05	N	1, 6	8		
15	Computer vision とXR技術の基礎と展望	安倍雄一郎	S344	1				12日	9:30-10:30	N, SS	1,7	38	
	Extended reality (XR)・メタバースのSDGs —開発・社会実装に必要なハードルとは—	成田 渉											
16	ACL損傷に対する治療 —現状と未来—	黒田良祐	S356	2	9:30-10:30				N, S	2, 12	48		
17	UKAの適応と手術手技 —後悔しないために—	松田秀一	S364	2	15:15-16:15				N, Re	12	71	リハ	
18	膝関節軟骨再生医療の最前線	安達伸生	S365	2	16:25-17:25	N, Re			1, 12	83	リハ		
19	ここまで来た特発性大腿骨頭壊死症治療	秋山治彦	S369	3	9:30-10:30	N, R			6, 11	47			

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 23-0023	他学会 単位			
20	やっぱりセメントTHA —ステムの知・仁・術—	高橋大介	S377	3	12日	15:15-16:15	N, R	11	74			
	やっぱりセメントTHA —カップの知・仁・術—	藤田 裕										
21	上肢のスポーツ障害と基礎研究 —軟骨障害克服へ向けて—	岩崎倫政	S382	4		9:30-10:30	N, S	1, 9	41	手外科		
22	子供の運動器が危ない —運動の大切さとなぜ 子供の頃からロコモ予防が必要か—	帖佐悦男	S390	4		15:15-16:15	N, Re	3, 13	76	リハ		
23	知・仁・術に根ざした腫瘍用人工関節の進歩	松峯昭彦	S439	7		9:30-10:30	N, Re	5, 12	45	リハ		
24	遺伝性腫瘍の実地臨床 —遺伝性骨・軟部腫瘍 を中心に—	平沢 晃	S447	7		15:15-16:15	N	1, 5	77			
25	世界へ発信する医師主導ランダム化比較試験 —軟部肉腫—	田仲和宏	S448	7		16:25-17:25	N	5	82			
	世界へ発信する医師主導ランダム化比較試験 —骨肉腫—	平賀博明										
26	手外科領域のスポーツ障害と外傷 —アスリートの 現在, 将来を見据えた競技復帰支援—	中尾悦宏	S452	8			9:30-10:30	N, S	2, 10	42	手外科	
27	上腕骨外側上顆炎の病態と治療	副島 修	S461	8			16:25-17:25	N, S	2, 9	86	手外科	
28	関節リウマチの薬物治療の基本 —MTX—	高窪祐弥	S473	9	15:15-16:15		N, R	1, 6	73	リ財団		
	関節リウマチの薬物治療の基本 —TNF阻害薬—	金子敦史										
29	重症脛骨開放骨折GustiloⅢBの骨欠損治療 —Current Best Management 2023—	二村謙太郎	S478	10			9:30-10:30	N	2	39		
	重度四肢外傷治療における軟部組織損傷治療 —より良く治せて持続可能なシステムとは?—	工藤俊哉										
30	わが国における足の外科の現状と未来	田中康仁	S491	11				9:30-10:30	N,R	6,12	44	リ財団
31	スポーツ診療の心構えと実際 —アスリートのため のチーム医療—	熊井 司	S499	11				15:15-16:15	N,S	2,12	75	リハ
32	外反母趾の三次元的な病態と矯正	窪田 誠	S500	11		16:25-17:25		N	1,12	87		
33	小児期膝・足部疾患の病態と治療	落合達宏	S512	12		15:15-16:15		N,Re	3,12	68	リハ	
	成長期の足部, 足関節スポーツ障害と傷害	倉 秀治										
34	小児難治性下肢疾患治療の進歩 —はじめの一 歩—	柿崎 潤	S513	12				16:25-17:25	N,Re	3,13	81	リハ
	ここまでわかる —小児整形外科・股関節疾患画 像診断の進歩—	中村幸之										
35	人工肩関節置換術の適応と成績	高橋憲正	S517	13	9:30-10:30				N,Re	9,13	43	リハ
36	運動器疼痛とロコモティブシンドロームの包括的 治療戦略	山田 圭	S525	13	15:15-16:15		N,Re		7,13	70	リハ	
37	関節近傍骨折に対する挑戦 —髓内釘はどこま でいけるか—	最上敦彦	S540	2	13日		8:00-9:00		N	2	89	
38	TKAの現状と未来 —患者満足度向上を目指し て—	眞島任史	S553	3								

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 23-0023	他学会 単位			
39	膝周囲骨切り術を基軸としたさまざまな関節温存術の展望	中村立一	S557	3	13日	16:30-17:30	N,Re	12	144	リハ		
40	医療事故の法的責任からみた医療安全	古笛恵子	S561	4		9:35-10:35	N	14-1	100			
41	胸部出口症候群の多数例の手術経験から明らかになってきたこと	古島弘三	S568	4		16:30-17:30	N,Re	8,9	140	リハ		
42	国の疾病対策の動向と整形外科医への期待	中谷祐貴子	S624	8		8:00-9:00	N	14-5	90			
43	医学史から見た新型コロナウイルス感染症とパンデミック	川島真人	S637	8		16:30-17:30	N	14-2	141			
44	発育性股関節形成不全から変形性股関節症への進展に関して 一小児整形外科医に期待すること一	三谷 茂	S638	9		8:00-9:00	N,Re	3,11	91	リハ		
45	これで完璧 一大腿骨頭軟骨下脆弱性骨折を究める一	山本卓明	S639	9		9:35-10:35	N,R	4,11	101			
46	慢性疼痛に対する適切な薬物療法 一痛みの診療に精通した麻酔科医からのメッセージ一	山口重樹	S645	9		13日	15:15-16:15	N,SS	1,7	131		
	整形外科からみた難治性疼痛の治療	大鳥精司										
47	臨床研究の倫理と「インフォームド・コンセント」の限界	田代志門	S646	9			16:30-17:30	N	14-3	142		
48	成人脊柱変形治療の10年を振り返って 一過去, 現在, そして未来一	松山幸弘	S647	10			8:00-9:00	N,SS	7,13	92	リハ	
49	脊椎脊髄手術における術中脊髄モニタリングの有用性	今釜史郎	S649	10			10:50-11:50	N,SS	7,8	106		
50	非外傷性肩関節不安定症の病態と保存療法	北村歳男	S659	11			13日	9:35-10:35	N,Re	9,13	93	リハ
	非外傷性肩関節不安定症の手術療法	石毛徳之										
51	コンタクト・コリジョンアスリートの肩関節・肩関節周囲障害	内山善康	S660	11	10:50-11:50			N,S	2,9	105		
52	運動器感染症の診断と治療	三嶋廣繁	S681	12	15:15-16:15			N	6	137		
53	母指CM関節症の診断と治療	池口良輔	S683	13	8:00-9:00			N,Re	10,13	88	手外科 リハ	
54	上肢先天異常をどう診てどう治療するか	川端秀彦	S684	13	9:35-10:35			N,Re	3,10	99	手外科 リハ	
55	医療統計の視点から見た倫理指針の記載事項	樋之津史郎	S685	13	10:50-11:50			N	14-3	107		
56	ナノマイクロの世界 一世界への発信と未来への展望一	光嶋 勲	S971	1	14日			8:00-9:00	N	3,8	147	手外科
57	骨・軟部腫瘍におけるブレイクスルーの過去, 現在, 未来	土屋弘行	S973	2		8:00-9:00		N	1,5	146		
58	日本リハビリテーション医学・医療教育の動向	久保俊一	S974	2		9:35-10:35		N,Re	13	153	リハ	
59	脊髄損傷に対する再生医療	國府田正雄	S983	3		14日		9:35-10:35	N,SS	1,7	150	リハ
	脊髄損傷に対する骨髄由来間葉系幹細胞治療の基礎と臨床	廣田亮介										
60	頸髄損傷の急性期マネジメント 一ベストコンディションでバトンをわたせ！一	筑田博隆	S984	3				10:50-11:50	N,SS	2,7	156	

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 23-0023	他学会 単位			
61	整形外科診療に伴う職業被曝と医療被曝 —若手もベテランも、自ら取り組むべき医療安全—	山下一太	S986	3	14日	13:40-14:40	N,SS	7	175			
	脊椎手術における放射線被ばくの現状と低減化への取り組み	船尾陽生										
62	脊椎転移をめぐる統計から見た診断	中西一夫	S987	3		14:55-15:55	N,SS	5,7	178			
	脊椎転移に対する手術療法の効果と合併症予防の工夫	角谷賢一朗										
63	日常診療における骨・軟部腫瘍診断のピットフォール	朴木寛弥	S991	4			9:35-10:35	N	5	154		
64	内側半月板後根断裂の診断と治療	古松毅之	S992	4			10:50-11:50	N,Re	2,12	160	リハ	
65	高齢者転位型大腿骨頸部骨折を究める —セメントレスBHA—	中村琢哉	S994	4			13:40-14:40	N,Re	2,11	176	リハ	
	大腿骨頸部骨折に対するセメント人工骨頭挿入術	莫 賢一										
66	腰痛に対する運動療法 —機能的診断に基づくアプローチとセルフマネジメント支援—	松平 浩	S995	4				14:55-15:55	N,Re	7,13	179	リハ
67	医療訴訟事例から見た医療安全	桑原博道	S1036	7				10:50-11:50	N	14-1	158	
68	がん診療において何が整形外科医に求められているか	川島寛之	S1038	7	13:40-14:40			N,Re	5,13	177	リハ	
69	末梢神経超音波検査の役割と臨床応用	塚本 浩	S1062	9	10:50-11:50			N	8	159		
70	非定型大腿骨骨折診療のススメ —サブタイプ別の病態と治療—	王 耀東	S1073	10	9:35-10:35	N,R		2,4	151			
	非定型大腿骨骨折診療のススメ —リウマチ性疾患患者コホート研究および腸骨および骨折部の組織像から得られた知見と治療アプローチ—	近藤直樹										
71	大腿骨寛骨臼インピンジメントに対する保存療法と手術療法の選択	山崎琢磨	S1107	12		10:50-11:50		N,S	11,13	155	リハ	
	FAIを究める —診断と患者選択の極意—	福島健介										
72	上肢切断の基本と義手の進化	陳 隆明	S1118	13			9:35-10:35	N,Re	2,13	152	手外科 リハ	
73	医療用AIの発展	浜本隆二	S1119	13			10:50-11:50	N	1	157		

招待講演

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 23-0023	他学会 単位	
1	Periprosthetic joint infection: An update	Javad Parvizi	S19	2	11日	16:05-17:05	N	6,11	28	リ財団
	Future strategies for periprosthetic joint infection: Prevention and treatment	Tamon Kabata								
2	Beyond Modic change: The ‘disc-end plate-bone complex’ concept	Shanmuganathan Rajasekaran	S29	3		16:05-17:05	N,SS	7	29	
	Beyond navigation?: Innovations by patient-specific 3D templates in spine surgery	Itaru Oda								

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 23-0023	他学会 単位		
3	Minimal invasive endoscopy in spinal surgery: Where are we now?	Jin-Sung Kim	S30	3	11日	17:20-18:20	N,SS	7	34		
	Minimally invasive full-endoscopic spine surgery: State of the art	Koichi Sairyō									
4	Recent advances in bone and cartilage mineralisation in health and disease	Colin Farquharson	S40	4		16:05-17:05	N,R	1,6	33	リ財団	
5	Orthobiologics: PRP, anti-inflammatory, and restorative techniques for muscle, tendon and cartilage	Scott A. Rodeo	S41	4		17:20-18:20	N	1,12	35		
	Stem cell therapy using synovial MSCs for knee osteoarthritis	Yusuke Nakagawa									
6	Biological reconstruction of the bone defect in osteosarcoma surgery	Han-Soo Kim	S90	7			16:05-17:05	N,Re	3,5	27	リハ
	Limb salvage surgery in pediatric patients with bone cancer	Robert Nakayama									
7	Revealing the early mechanism of hip OA and state of the art in the treatment of the young adult hip disease	Cecilia-Pascual Garrido	S378	3	16:25-17:25			N,Re	11	78	
	Current status and future prospects of treatment for hip disease in young adults in Japan	Shingo Hashimoto									
8	Application of microsurgical techniques in functional reconstruction	Qingping Xie	S391	4		16:25-17:25		N	2,10	79	手外科
	Functional reconstruction of severely damaged hand using microsurgery	Kenji Kawamura									
9	Orthopaedic aspects and controversies in baseball in the US	Kenneth Akizuki	S460	8			15:15-16:15	N,S	2,9	69	
10	The subtle distal radius fracture patterns: How to avoid treatment complications	Kevin C.Chung	S465	9			9:30-10:30	N	2,10	46	手外科
11	Bone healing: What is new on the horizon?	Theodore Miclau	S487	10	16:25-17:25		N	1,2	80		
	BMP in Japan	Takahiro Niikura									
12	Bone deformity correction and lengthening with an intramedullary motorized nail. Indications, surgical technique and outcomes	Franck Accadbled	S504	12		9:30-10:30	N,Re	3	40	リハ	
	Current treatment for congenital hand abnormalities with nonvascularized toe phalanx transfer	Daisuke Tamura									
13	The era of value in health: Fueling the quest for science,spirit, and skills	Kevin J. Bozic	S533	1			13日	13:40-14:40	N	14-5	128
14	Characteristics and treatment strategy of non- union	Peter V. Giannoudis	S542	2			10:50-11:50	N	1,2	109	

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 23-0023	他学会 単位				
15	How to develop surgical strategies based on the fracture morphology for the plateau fractures?	Jong-Keon Oh	S544	2	13日	N	2,12	125					
	Treatment strategy for pilon fracture	Martin H. Hessmann											
16	Revisiting dual mobility hip arthroplasty indications and complications: A 40-years' experience	Philippe Hernigou	S548	2		16:30-17:30	N	11	143				
17	Impact of phenotypes of bone morphology and soft tissue envelope in arthritic knees on TKA	Arun Mullaji	S552	3		9:35-10:35	N,Re	2,12	94				
	Polyethylene wear particle are still issue for TKA in 2023	Yukihide Minoda											
18	Horizontal cleavage of the meniscus in the young athlete	Nicolas Pujol	S555	3			13:40-14:40	N,S	2,12	127			
	Current concepts of meniscus scaffold and development of bioabsorbable meniscus	Shuhei Otsuki											
19	Current concept of high tibial osteotomy in knee OA	Kang-Il Kim	S556	3				15:15-16:15	N,Re	2,12	135	リハ	
	Current concepts in osteotomy around the knee: Indication and limitation of OWHTO and hybrid CWHTO	Yasuhiro Takahara											
20	Prevention and treatment of hand fracture complications	Marco Rizzo	S562	4					10:50-11:50	N	2,10	108	手外科
21	Risk factors of posterolateral rotator cuff tear and retears after rotator cuff repair	Hyung-Bin Park	S567	4	15:15-16:15				N	2,9	134		
	Remaining teres minor in irreparable posterolateral rotator cuff tears; Its clinical and radiographic assessments	Kenshi Kikukawa											
22	Computer assisted surgery: Linking innovation and impact	Peter F.M. Choong	S614	7					9:35-10:35	N	5,11	97	
	CT based navigation, system as an educational device for malignant pelvic tumor resection	Toru Akiyama											
23	The therapeutic ratio in soft tissue sarcomas: Balancing benefit and complications of radiation	Peter Ferguson	S615	7		10:50-11:50				N	1,5	103	
	Essence of clinical practice for plexiform neurofibroma and malignant peripheral nerve sheath tumor	Yoshihiro Nishida											
24	Pelvic resection: Reconstruct or not?	Lee Jeys	S623	7			16:30-17:30			N,Re	5,11	138	リハ
	Reconstruction after pelvic resection: The pros and cons of hip transposition	Shintaro Iwata											
25	Modern patient selection and treatment for acetabular dysplasia using advanced imaging, dynamic hip ultrasound, and motion analysis	Young-Jo Kim	S640	9				10:50-11:50		N,Re	11	104	リハ
	Periacetabular osteotomy for acetabular dysplasia in Japan: Rotational acetabular osteotomy and spherical periacetabular osteotomy	Ayumi Kaneuji											

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 23-0023	他学会 単位
26	How to approach and manage complex paediatric spinal deformities	Jean Ouellet	S648	10	13日	9:35-10:35	N,SS	3,7	95
	Pediatric spinal deformity	Haruhisa Yanagida							
27	Biomechanical basic research	Nozomu Inoue	S654	10		15:15-16:15	N,SS	1,7	136
	Histopathologic evidences of bone graft substitute and filler materials; from animal study to clinical use	Daisuke Togawa							
28	Spinal osteotomies for correction of post-traumatic thoracolumbar kyphosis	Shu-Hua Yang	S655	10		16:30-17:30	N,SS	7	139
	C-arm free technique for adult spinal deformity: Navigated expandable cage, lateral osteotomy, OLIF 51, and ASD	Masato Tanaka							
29	Approach to complex lower limb deformity	Haim Shtarker	S665	11		15:15-16:15	N,Re	3	133
	DDH screening and treatment in Japan and on the earth	Kiyoshi Aoki							
30	Reconstruction of the hindfoot and ankle for correction of traumatic deformity	Mark S. Myerson	S687	13	13:40-14:40	N	2,12	126	
	Lisfranc injury: Anatomic pathology, treatment, and reconstruction for chronic injury	Naoki Haraguchi							
31	Common soccer foot & ankle sports injuries that are not a lateral ankle sprain	Eric Giza	S688	13	15:15-16:15	N,S	2,12	132	
	How to objectively assess ankle instability?	Satoshi Yamaguchi							

JOA/AOS combined program: Instructional Course Lecture

No.	タイトル	講師	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 23-0023	他学会 単位
1	Proximal femoral fracture	Michael J. Gardner	S486	10	12日	15:15-16:15	N	2	67
	Arthroplasty for the comminuted elbow injury	Joaquin Sanchez-Sotelo							
2	Periprosthetic fracture around THA and/or TKA	Mark C. Reilly	S541	2	13日	9:35-10:35	N	2,12	96
	Distal femur fractures	Paul Tornetta III							

JOA/AOS combined symposium

タイトル	座長	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 23-0023	他学会 単位
Up to date knowledge of orthopaedic trauma surgery	Paul Tornetta III, Takashi Miyamoto	S534-536	1	13日	14:55-16:25	N	2	130

AOA/HKOA fellow special session

タイトル		演者	抄録	会場	日時	
1	Outcomes in metastatic bone disease: A comparison of academic and community programs using the United States National Cancer Database	Tessa Balach	S626-628	8	13日	10:50-11:50
2	Unilateral intramedullary femoral lengthening for combat-wounded patients with bilateral transferral amputations	Jean-Claude G. D'Alleyrand				
3	Are all ACL autografts biologically created equal? An <i>in vitro</i> analysis of cellular responses of common tendon autografts to cyclic strain	Shen-Ying (Richard) Ma				
4	Management of geriatric pelvic and acetabular fractures	John Alan Scolaro				
5	Achieving restricted kinematic alignment in Chinese patients with primary varus osteoarthritis of the knee using robotic-arm-assisted total knee arthroplasty	Yan-Jin Samuel Fang				

RCOST session

タイトル		講師	抄録	会場	日時		単位種別	N必須分野	認定番号 23-0023	他学会 単位
1	Levels of constraint affect functional outcome of femoral sleeve in revision total knee arthroplasty	Thanainit Chotanaphuti	S625	8	13日	9:35-10:35	N,Re	2,12	98	リ財団 リハ
2	My 30-year lesson learned in knee arthroplasty	Aree Tanavalee								

日本整形外科学会奨励賞受賞演題

No.	タイトル	演者	抄録	会場	日時	
1	脊髄損傷に対するヒト iPS 細胞由来神経幹・前駆細胞移植における移植細胞の選択的な長期刺激による運動機能の改善	河合桃太郎	S675	12	13日	10:50-11:50
2	骨における Smurf2のBMP/Smad シグナル伝達に対する新たな負の制御機構	串岡純一				
3	脊椎固定椎間数と脊椎骨盤アライメントは脊椎固定術後の股関節変性の進行に影響する	河井 利之	S676			
4	整形外科清潔手術における医療関連感染に対する予防的抗菌薬投与期間の影響 —クラスターランダム化比較試験—	永田向生				

シンポジウム

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 23-0023	
1	整形外科専門医制度の現状と問題点	渡辺雅彦, 中島康晴	S2-4	1	11日				
2	Sustainableな外傷教育とリーダーの育成	松下 隆, 正田悦朗	S6-8	1		14:30-15:50			
3	整形外科関連学会の連携や統合を考える	安達伸生, 波呂浩孝	S9-11	2		17:20-18:40			
4	待ったなし！整形外科医の働き方改革への取り組み	伊藤淳二, 三上容司	S12-14	2		8:30-9:50			
5	がんロコモ診療の課題と展望	河野博隆, 城戸 顕	S16-18	2		10:05-11:25			
6	運動器のガイドラインとその後の使われ方 —安全に配慮した有用なガイドラインとは—	齋藤貴徳, 石橋恭之	S21-23	3		14:30-15:50	N,Re	5,13	25
7	股関節手術におけるcomputer 技術介入と未来	菅野伸彦, 高木理彰	S26-28	3		8:30-9:50			
8	整形外科医が遭遇する骨・軟骨代謝領域の 難病:現状と展望	福本誠二, 今井祐記	S37-39	4		14:30-15:50	N,R	11	24
9	整形外科手術の周術期合併症対策	稲葉 裕, 中島 勲	S110-112	8		14:30-15:50			
10	整形外科医に求められる生涯教育とキャリア アップ	千葉一裕, 山田 宏	S121-123	9		17:20-18:40			
11	RA, RA周辺疾患の骨代謝動態および微細構造と インプラント手術	酒井昭典, 伊藤 宣	S139-141	11		17:20-18:40			
12	骨粗鬆症リエンサーブスにおける整形外科医の 役割	遠藤直人, 湊藤啓広	S143-145	11		14:30-15:50			
13	末梢神経再生治療の最前線 —基礎から臨床へ—	平田 仁, 池田和夫	S152-154	12		17:20-18:40	N	1,8	26
14	手術機器における医療安全 —感染対策の現状と課題—	志波直人, 紺野慎一	S161-163	13		14:30-15:50	N	14-2	1
15	脊椎インストゥルメンテーション手術の光と影	大川 淳, 川原範夫	S341-343	1	12日				
16	脊髄再生のup to date	山下敏彦, 中村雅也	S345-346	1		8:00-9:20			
17	成育基本法の拡充に則した側弯症検診のあり方	伊東 学, 高相晶士	S348-350	1		10:40-12:00	N,SS	1,7	51
18	半月板温存治療の進歩と限界	中田 研, 近藤英司	S353-355	2		13:45-15:05	N,SS	3,7	66
19	早期変形性膝関節症の病態・診断・治療	中村憲正, 石川正和	S357-359	2		8:00-9:20			
20	ロボット支援人工膝関節手術はブレークスルーに なりうるか？	岡崎 賢, 箕田行秀	S361-363	2		10:40-12:00			
21	わが国における股関節鏡手術を究める —知・仁・術—	杉山 肇, 小林直実	S366-368	3		13:45-15:05			
22	寛骨臼形成不全を究める	伊藤 浩, 山本卓明	S370-372	3		8:00-9:20			
23	脊椎骨盤動態を考慮した人工股関節全置換術	星野裕信, 坂井孝司	S374-376	3		10:40-12:00			
24	整形外科分野におけるスポーツ医学の多様性	奥脇 透, 帖佐悦男	S379-381	4		13:45-15:05			
25	運動器エコーはアスリートサポートを変える！	内尾祐司, 中島祐子	S383-385	4		8:00-9:20			
26	筋腱付着部症を呈するスポーツ障害をどう扱うか —疫学・病態・治療—	熊井 司, 落合信靖	S387-389	4		10:40-12:00			
						13:45-15:05			

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 23-0023	
27	骨盤の悪性腫瘍を究める	片桐浩久, 米本 司	S436-438	7	12日				
28	四肢悪性骨・軟部腫瘍の知・仁・術	筑紫 聡, 松本嘉寛	S440-442	7					
29	肉腫におけるがんゲノム医療の現状と未来	遠藤 誠, 平田 真	S444-446	7		13:45-15:05	N	5	65
30	重症手指外傷	田中克己, 五谷寛之	S449-451	8		8:00-9:20			
31	小児肘外傷のピットホール	堀井恵美子, 関 敦仁	S453-455	8		10:40-12:00			
32	肘周辺骨折に対する診断と治療 —Up to date—	池上博泰, 今谷潤也	S457-459	8		13:45-15:05			
33	関節リウマチ人工足関節のアップデート	仁木久照, 栃木祐樹	S462-464	9		8:00-9:20			
34	International symposium for inflammatory hand disorders	南川義隆, 石川 肇	S466-468	9		10:40-12:00	N,R	6,10	49
35	RA上肢・下肢に対する最新治療戦略	桃原茂樹, 門野夕峰	S470-472	9		13:45-15:05			
36	大腿骨頸部骨折の治療	佐藤 徹, 松村福広	S475-477	10		8:00-9:20			
37	骨盤骨折治療の進歩	井口浩一, 野田知之	S479-481	10		10:40-12:00			
38	大腿骨頸部・転子部骨折診療ガイドライン2021は クリニカルプラクティスをどう変えたか?	澤口 毅, 福田文雄	S483-485	10		13:45-15:05			
39	未来の指導者育成に向けて, 整形外科希少手術 分野の教育を考える —足の外科での取り組み—	大関 覚, 橋本健史	S488-490	11		8:00-9:20			
40	足関節・足部疾患とロコモティブシンドローム	仁木久照, 安田稔人	S492-494	11		10:40-12:00	N,Re	12	50
41	足関節捻挫と足関節外側不安定症のアップ デート	吉村一朗, 生駒和也	S496-498	11		13:45-15:05			
42	骨系統疾患と整形外科common diseases	鬼頭浩史, 樋口周久	S501-503	12		8:00-9:20			
43	成長期の関節疾患治療アップデート	三谷 茂, 黒田良祐	S505-507	12		10:40-12:00			
44	小児整形外科領域における診断遅延	小林大介, 落合達宏	S509-511	12		13:45-15:05			
45	肩関節外科に必要な解剖学	井樋栄二, 三幡輝久	S514-516	13		8:00-9:20			
46	腱板断裂の治療に関するaugmentation	菊川和彦, 谷口 昇	S518-520	13		10:40-12:00			
47	肩鎖関節脱臼に対する手術治療法	高瀬勝己, 橋口 宏	S522-524	13	13:45-15:05				
48	ロコモティブシンドローム研究アップデート	中村耕三, 西田康太郎	S527-529	1	13日	8:00-9:20			
49	豊かな人生と整形外科医を両立するために: イクボスと休暇マネジメント	大川 淳, 山内かづ代	S545-547	2		14:55-16:15			
50	人工関節置換術で究める —知・仁・術—	大谷卓也, 秋山治彦	S549-551	3		8:00-9:20			
51	次世代の整形外科医が理解しておくべき, 関節 リウマチ診療の現状と将来展望	持田勇一, 仲村一郎	S558-560	4		8:00-9:20			
52	人工肘関節置換術 —合併症に対する創意と 工夫—	稲垣克記, 西田圭一郎	S564-566	4		13:40-15:00			
53	骨・軟部腫瘍診療におけるデジタルトランスフォー メーションとプレジジョン・メディシン	西田佳弘, 川島寛之	S611-613	7		8:00-9:20			
54	多診療科で考える脊椎転移の治療	高木辰哉, 中西一夫	S617-619	7		13:40-15:00			

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 23-0023	
55	世界に飛び立て！これからの海外留学 —With コロナにおける留学経験から—	高橋謙治, 石井 賢	S642-644	9	13日	13:40-15:00			
56	脊椎外科関連の診療ガイドラインの現状と課題	山崎正志, 岡田誠司	S651-653	10		13:40-15:00			
57	整形外科領域におけるAI	渡辺航太, 折田純久	S656-658	11		8:00-9:20			
58	骨粗鬆症治療継続への多面的戦略	宮腰尚久, 斎藤 充	S662-664	11		13:40-15:00	N,SS	4	129
59	野球肘診療・検診:各地の現状と展望	鶴田敏幸, 松浦哲也	S666-668	11		16:30-17:50			
60	スポーツ損傷に対する最先端の再生医療・細胞 治療	田中康仁, 出家正隆	S678-680	12		13:40-15:00			
61	新型コロナウイルス感染症:整形外科の診療・ 教育への影響	鎌田修博, 松山幸弘	S977-979	2	14日	14:50-16:10			
62	脊椎脊髄病領域における多施設共同研究の 現状と未来	根尾昌志, 西良浩一	S980-982	3		8:00-9:20			
63	ロコモ診療ガイド2021とその後の展開	林 承弘, 大江隆史	S988-990	4		8:00-9:20			
64	国産医療機器開発を活性化するために	名井 陽, 松田秀一	S1030-1032	7		8:00-9:20			
65	運動器検診とどう向き合うか —現状と課題—	新井貞男, 原田 昭	S1042-1044	8		8:00-9:20	N,Re	3	148
66	交通事故診療を究める整形外科医を目指して —交通事故診療の疑問に応えます—	原田 繁, 松崎信夫	S1045-1047	8		9:35-10:55			
67	ここまできた！骨・軟骨再生医療の最前線	妻木範行, 新倉隆宏	S1070-1072	10		8:00-9:20			
68	高齢者における手外科	内山茂晴, 酒井昭典	S1084-1086	11		8:00-9:20			
69	運動器リハビリテーション診療における先端的機 器の応用	島田洋一, 千田益生	S1115-1117	13		8:00-9:20	N,Re	1,13	149
70	下肢切断診療における多職種連携 —義足歩行を目指すために—	木下 篤, 緒方 徹	S1121-1123	13		13:40-15:00			

ランチョンセミナー

No.	タイトル	講師	共催	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 22-0026	他学会 単位
1	再生医療法により始まった自家滑膜幹細胞注射による変形性膝関節症治療	関矢一郎	セルソース(株)/ 富士フイルム(株)	S15	2	11日 11:40-12:50	N,R	1,12	17	
2	ロボティックアーム手術支援システムを用いたハイブリッド人工股関節全置換術	菅野伸彦	日本ストライカー (株)	S25	3		N	11	18	
	Cemented THA with robotic assistance: A perfect marriage	John Timperley								
3	変形性膝関節症 ―ガイドラインに沿った治療を考える!―	出家正隆	大正製薬(株)	S36	4		N,R	6,12	19	
4	乾癬性関節炎の診療における整形外科医の役割	辻 成佳	アヅヴィ(同)	S49	5		N,R	6,7	10	リ財
	体軸性脊椎関節炎を早期から診療するために考えるべきこと	門野夕峰								
5	成人脊柱変形に対する矯正手術における進歩と課題 ―矯正手術の原理に基づいた手術計画と適切な骨切り術選択の重要性―	金子慎二郎	(株)メディコン	S68	6		N,SS	7	20	
6	変形性関節症の疼痛治療を再考する ―メカニズムとエビデンス―	池内昌彦	日本臓器製薬	S85	7		N,R	6,12	21	
7	ロボット支援技術で可能となるPS型人工関節を使用したpersonalized alignment法とスマートフォンアプリの活用方法	朝田滋貴	ジンマー・ バイオメット (同)	S102	8		N	12	11	
	手術支援ロボットと患者アプリで始まる人工膝関節手術デジタルトランスフォーメーション	平中崇文								
8	整形外科医が知って得する局所皮弁!	小川 令	ジョンソン・エンド・ ジョンソン(株)	S118	9		N	2,12	12	
	整形外科医が知っておくべき外傷(特に足関節周囲骨折)での創閉鎖の注意点および縫合テクニック	塩田直史								
9	安全・安心・簡便な2ポータル鏡視下手根管開放術のすすめ	森谷浩治	スミス・アンド・ ネフュー(株)	S129	10		N	8,10	13	手外科
	Bouchard 結節の治療における最新のエビデンス	山本美知郎								
10	変形性関節症に併存する慢性関節炎の鑑別診断 ―整形外科診療に潜む高齢発症関節リウマチと類似疾患―	原 良太	旭化成ファーマ(株)	S138	11	N,R	4,6	14	リ財	
	整形外科医のための高齢発症関節リウマチ患者の治療戦略	村田浩一								
11	Deep learning technology搭載MRIにおける膝関節軟骨の評価	松田秀策	キヤノンメディカル システムズ(株)	S151	12	N,S	1,12	15		
	手術に活かす2歩先の超音波診療	宮武和馬								
12	トシリズムマップによる関節リウマチの治療戦略	浅井秀司	中外製薬(株)	S165	13	N,R	6	16	リ財	
	人生100年時代のリウマチリハビリテーションの実際と課題 ―RT2Tを目指して―	高窪祐弥								
13	脊柱変形手術の諸問題とその解決に向けての試み ―現時点での見解―	辻 太一	メトロニックソファ モアダネック(株)	S347	1	N,SS	7	55		
14	変形性膝関節症の病態に則した治療の現状と課題	石島旨章	科研製薬(株)/ 生化学工業(株)	S360	2					N,R

No.	タイトル	講師	共催	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 22-0026	他学会 単位
15	The value of Japanese rTKA evidence: Global challenges and expected leadership	John Wright	ジョンソン・エンド・ ジョンソン(株)	S373	3	12日 12:20-13:30	N	12	57	
16	健康寿命の延伸を目指した慢性疼痛治療 —多職種によるいたみ診療の取り組み—	鉄永倫子	ファイザー(株)	S386	4		N,SS	7,8	58	リハ
17	整形外科医の身近にいる脊椎関節炎という 疾患は整形外科医にしっかりと理解されて いるのか?	岡野匡志	エーザイ(株)/ アッヴィ(同)	S403	5		N,R	6,7	59	リ財
18	多血小板血漿(PRP)とエコーで広がる整形 外科治療	羽田晋之介	(株)バイオマスター/ (株)カネカ	S425	6		N	1,12	60	
19	肉腫におけるゲノム医療の現在と未来	中田英二	バイエル薬品(株)	S443	7		N	1,5	61	
20	さまざまな疼痛管理におけるアセトアミノフ ェンの位置づけ	猪狩勝則	あゆみ製薬(株)	S456	8		N,R	6,7	62	
21	関節リウマチの次世代抗体治療 —低分子 化抗TNF α 抗体製剤オゾラズマブの基礎 と臨床—	蛭名耕介	大正製薬(株)	S469	9		N,R	1,6	63	リ財
22	上腕骨近位端骨折に対するロッキングプ レート固定	松村福広	ジンマー・ バイオメット (同)	S482	10		N	2,9	52	
	鎖骨骨折に対する治療戦略 —プレート骨 接合術—	島村安則								
23	エコーで切り拓く、多血小板血漿(PRP)治療 の最前線	面谷 透	Arthrex Japan(同)	S495	11		N	12	53	
	多血小板血漿(PRP)の限界と限界突破への 試み —スポーツ外傷・障害から変形性関 節症まで—	清水勇樹								
24	血友病性関節症診療の現状と課題	高橋伸典	中外製薬(株)	S508	12	N,R	3,12	64		
25	人工膝関節片側置換術(UKA)のさらなる成 績向上を目指して —未来を拓く先進技術 の臨床経験—	木村正一	日本ストライカー (株)	S521	13	N,R	12	54		
	Survivorship & patient satisfaction rate of robotic-assisted unicompartmental knee arthroplasty	Martin W.Roche								
26	骨粗鬆症性椎体骨折の治療戦略	猪瀬弘之	旭化成ファーマ(株)	S532	1	N,SS	4,7	115	リ財	
27	大腿骨転子部骨折 —診断・整復固定法の 発展による治療戦略の変化—	寺田忠司	ジョンソン・エンド・ ジョンソン(株) (DPSトラウマ 事業部)	S543	2	N	2,11	112	リハ	
	大腿骨転子部骨折 —診断・整復固定法の 発展による治療戦略の変化—	吉田昌弘								
28	人工膝関節置換術のトータルマネジメント —10,000件施行して得られたエッセンス—	菊地忠志	日本ストライカー (株)	S554	3	N,R	12	116		
29	JAK阻害薬が関節リウマチ患者のQOL改善 に果たす役割	多田昌弘	ギリアド・ サイエンシズ(株)/ エーザイ(株)	S563	4	N,R	6	117	リ財	
30	Simple is the bestを目指した令和時代のRA 治療に迫る —単剤治療で事足りるウバダシ チニブの実臨床での着眼点—	三崎健太	アッヴィ(同)	S579	5	N,R	6	118	リ財	

No.	タイトル	講師	共催	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 22-0026	他学会 単位
31	腰痛に対する薬物療法の現状と未来 —“益”と“害”のバランスに基づいた薬剤選 択の重要性—	二階堂琢也	久光製薬(株)	S600	6	13日 12:10-13:20	N,SS	7	119	
32	がんロコモと向き合うonco-orthopaedicsとい う新たな領域 —がん患者の適切な疼痛管 理と患者QOLそしてQOD—	河野博隆	塩野義製薬(株)	S616	7		N,Re	5,13	120	リハ
33	薬剤関連顎骨壊死対策アップデート —ポジションペーパーの改訂—	岸本裕充	第一三共(株)	S629	8		N	4,7	113	
	グルココルチコイド誘発性骨粗鬆症の病態と 管理	宗圓 聡								
34	骨粗鬆症性椎体骨折 診療 update	星野雅俊	アムジェン(株)/ アステラス製薬(株)	S641	9		N,Re	4,7	121	リハ
35	頸髄症を科学する —診断から治療まで—	中島宏彰	日本臓器製薬	S650	10		N,SS	7	122	
36	変形性膝関節症の病態と保存治療	西田佳弘	小野薬品工業(株)/ 生化学工業(株)	S661	11		N,R	6,12	123	リハ
37	教科書にないスキル —整形外科学を変え たハイドロリリース—	皆川洋至	コニカミノルタジャ パン(株)	S677	12	N,Re	2,13	124	リハ	
38	APS療法の基礎的知見と当院における変形 性股関節症に対する導入の工夫	宮武和正	ジンマー・ バイオメット (同)	S686	13	N,R	11,12	114		
	変形性関節症に対するPRP(APS)療法を 再考する —保存治療としての可能性と 限界—	桑沢綾乃								
39	Consensus guidelines for wound management and advances in SSI prevention	Javad Parvizi	コンバテック ジャパン(株)	S972	1	N	6	164		
40	体軸性脊椎関節炎 —腰痛からのアプロ ーチと診断治療に関する最新の知見—	高橋 宏	ノバルティス ファーマ(株) メディカル・ アフケアーズ本部	S976	2	N,R	6,7	162	リ財	
	エコーを用いた確かな末梢関節炎へのアプ ローチ —その関節から何を診て、何を考 えるべきか?—	谷 泰宏								
41	二次性骨折予防を目指した骨粗鬆症治療 —薬剤選択をどうするか?—	萩野 浩	持田製薬(株)/ 科研製薬(株)	S985	3	N,SS	1,4	165		
42	PRP療法の現在と未来 —関節鏡所見から 見る変形性股関節症の発生メカニズムとそ の治療への応用を踏まえて—	宇都宮啓	ジョンソン・エンド・ ジョンソン(株)	S993	4	N,S	11	166		
43	Real-world evidenceから考える関節リウマチ におけるJAK阻害剤の有用性	寺部健哉	日本イーライリリー (株)	S1006	5	N,R	1,6	167	リ財	
44	変形性膝関節症に対する自己脂肪由来幹 細胞の関節内投与による治療の実際	山神良太	CPC(株)	S1023	6	N	1,12	168		
45	病院勤務医への漢方治療のススメ	勝山詠理	(株)ソムラ	S1037	7	N	14-5	163		
	整形外科外来診療における漢方薬の位置 づけ	柳澤道朗								
46	各世代の診療課題を踏まえたこれからの関 節リウマチ治療 —プレシニア世代から考 える高齢化を見据えた治療戦略—	桃原茂樹	ヤンセン ファーマ(株)/ 田辺三菱製薬(株)	S1048	8	N,R	6,13	169	リ財	
47	関節リウマチにおけるMTXの使用法	金子祐子	エーザイ(株)	S1063	9	N,R	6	170	リ財	

No.	タイトル	講師	共催	抄録	会場	日時	単位種別	N必須分野	認定番号 22-0026	他学会 単位
48	糖尿病性神経障害の診断と治療	神谷英紀	第一三共(株)	S1077	10	14日 12:10-13:20	N	8	171	
49	膝関節OAのアーリーステージに対する治療選択とHTOプレートについて	岡崎 賢	(株)日本エム・ディ・エム	S1093	11		N,R	6,12	172	
50	どこでも・誰でも・安全に！病院所有の骨折牽引台を応用した人工骨頭挿入術/人工股関節置換術	馬場智規	ジンマー・バイオメット(同)	S1108	12		N	11	173	
51	整形外科疾患のリハビリテーション治療における歩行アシストの活用	浅見豊子	オージー技研(株)	S1120	13		N,Re	13	174	リハ

アフタヌーンセミナー

No.	タイトル	講師	共催	抄録	会場	日時	単位種別	N必須分野	認定番号 22-0026	他学会 単位
1	若年RA患者のライフステージを考慮した治療戦略 —RA治療を基本から学ぶ—	望月 猛	アステラス製薬(株)/ ユーシービー ジャパン(株)	S474	9	12日 16:25-17:35	N,R	6	84	リ財
2	骨粗鬆症性骨折の予防を目的とした治療薬の適正使用 —新たな治療薬を含む—	田中伸哉	帝人ファーマ(株)/ 帝人ヘルスケア(株)	S526	13		N	4	85	
3	最小侵襲脊椎治療の最前線 —Fenestrated PPSによるMiStから仮想現実(VR)/人工知能(AI)との融合まで—	篠原 光	ジョンソン・エンド・ ジョンソン(株)	S682	12	13日 16:30-17:40	N,SS	7	145	
4	Orthogeriatric(整形老年病学)の概念 —世界の潮流FFN-Japanの活動—	山本智章	ユーシービー ジャパン(株)	S689- 690	13	13日 16:30-18:10				
	令和4年度診療報酬改定とorthogeriatric care —医療的ベネフィット—	重本顕史								
	日本におけるorthogeriatricケアの必要性 —整形外科医の視点—	脇 貴洋								
	高齢者大腿骨骨折患者における老年内科医の介入	東川俊寛								

日整会認定教育研修 受講取得単位 (認定単位種別)

N:日整会専門医単位 S:スポーツ単位 R:リウマチ医単位
SS:脊椎脊髄病医単位 Re:運動器リハビリテーション医単位

日整会認定教育研修 受講必須分野 (専門医必須14分野)

- 1 整形外科基礎科学
- 2 外傷性疾患(スポーツ障害を含む)
- 3 小児整形外科疾患(先天異常,骨系統疾患を含む,ただし外傷を除く)
- 4 代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)
- 5 骨・軟部腫瘍
- 6 リウマチ性疾患,感染症
- 7 脊椎・脊髄疾患
- 8 神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む)
- 9 肩甲帯・肩・肘関節疾患
- 10 手関節・手疾患(外傷を含む)
- 11 骨盤・股関節疾患
- 12 膝・足関節・足疾患
- 13 リハビリテーション(理学療法,義肢装具を含む)
- 14-1 医療安全
- 14-2 感染対策
- 14-3 医療倫理
- 14-4 その他の共通講習
- 14-5 1~13に当てはまらない領域講習